



☆第1回学校運営協議会が行われました！

今年度よりコミュニティ・スクールが導入され、5月23日（金）に第1回学校運営協議会が開催されました。8名の学校運営協議会委員の皆様と、本校関係職員が出席しました。地域とのパートナーシップによる学校づくりをしていくことを確認した上で、初年度として、学校や児童生徒の活動を公開して、現場の理解を元にした話し合いにつなげていけるようにしたいとの方針を共有しました。



【内容】

○開会

- ・日程説明 ・校長挨拶 ・参加者自己紹介
- ・会長、副会長の選出・承認
- ・コミュニティ・スクール、今年度の取組について

○授業参観

○グランドデザインについて

- ・意見交換 ・議案提案

○その他 次回の予定



☆学校運営協議会のメンバーを紹介します！

学校運営協議会委員	所 属
高橋由紀子	R7年度本校 PTA 副会長
藤森 幸子	こどものカウンセリングルームつわ室長／常磐大学非常勤講師
生熊 一仁	R7年度本校 PTA 会長
赤根 陽	土浦市社会福祉協議会事務局次長兼総務係長
野口 隆宏	カスミ特例子会社 株式会社カスミみらい代表取締役社長
西野 浩章	県南生涯学習センター 主任社会教育推進員
坂本 晴美	アール医療専門職大学リハビリテーション学部作業療法学科副学科長 人間創成地域センター副センター長
森 正貴	本校校長



8名の委員の皆様です。

本校 PTA 副会長の高橋由紀子氏が会長に、藤森幸子氏が副会長に選出・承認されました。

頼もしい委員の方々をお迎えして、これまでよりもさらに地域に開かれた学校を目指す一歩を踏み出しました。



☆今年度のテーマが決まりました

「地域との連携・協働による学びの充実」

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）により、地域の方から学んだり、地域に出て活動したりすることで、子供たちの学びが広がり、学びが豊かになることを目指します。

地域との連携・協働による学びの充実とは何なのかを、皆で考え、話し合い、行動していきましょう。



☆地域とのパートナーシップ実現のための取組

- 1 本校と本校児童・生徒についての理解促進の努力
- 2 学校運営協議会委員と本校職員の熟議による課題の共有
- 3 地域との連携・協働による学びの充実の検討
- 4 学校運営協議会や地域学校協働活動のホームページ掲載による公開
- 5 今年度末における次年度グランドデザインの学校運営協議会への提案



☆今後の予定

	日 時	内 容
授業参観①	令和7年7月14日(月) ～7月17日(木)	・都合の良い日時に委員による授業参観
第2回 学校運営協議会	令和7年8月27日(水)	・1学期の取組の振り返りから地域学校協働活動の具体化を検討 ・CS校内研修（熟議）
授業参観②	令和7年10月29日(水)小学部 11月11日(火)中学部 11月12日(水)高等部	・都合の良い日時に委員による授業参観
授業参観③	令和8年1月28日(水) ～1月30日(金)小・中学部 2月4日(水)高等部	・都合の良い日時に委員による授業参観
第3回 学校運営協議会	令和8年2月19日(木)	・取組の振り返りと次年度に向けて ・次年度のグランドデザインの検討



☆委員の方が授業を参観されました

委員の方々に児童生徒の学習の様子を参観していただきました。

各部の通常授業の他、遠足に出かけている学年とオンラインでやりとりしたり、高等部修学旅行の様子の動画を見たりしました。校外での活動で見せる児童生徒の表情にも触れる機会となりました。



中学部2年生「職業・家庭」

緊張するけどがんばるぞ！

小学部6年生「国語」

「こんな学習をしているんだね。」
「うん、そうだよ。」



高等部「手工芸班」

「作品の説明をしま～す。」
委員の皆さん、思わず前進前進
「すごいですね。」



我が子を見守るような
やさしい眼差し





小学部4年生「遠足（フラワーパーク）」

校外における子供たちの生の声に、思わず笑い声が…

高等部3年生「修学旅行（沖縄）」

修学旅行先の生徒たちと本校とをつないだやりとりの録画を見て、子供たちが楽しんでいるワクワク感を共有しました。



☆グランドデザインについて

令和7年度グランドデザインについて森校長より説明し、了承いただきました。

意見交換では、「子供たちが年々生き生きと表情も豊かになってきている」「脳機能の研究をしているが、人の役に立つことは脳機能にも良い」等のご感想や、「先生方の生の声や保護者の困っていることを知って協力していきたい」といった委員としての思いが伝えられました。また、「高齢者施設先での歌やレクリエーション等は喜ばれていた」「学校公開に合わせて中・高等部の作業作品販売を行うのはどうか」等の具体的な提案や「課題を共有するには学校を公開して聞く機会を広げるのはどうか」「子供は地域で生活しているので地域とのつながりをもてるようにしたい」等、地域における理解やつながりを期待する声等もありました。

様々な立場や視点からの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。今後に役立てていきたいとします。

令和7年度 茨城県立土浦特別支援学校 グランドデザイン

【学校教育目標】
一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を通して、それぞれの自立と社会参加を目指し、社会の中で、明るく、たくましく、自分らしく生きていく力を育成する。

まなびをひろげよう!!

地域との連携・協働による学びの充実

【目指す児童生徒像】 ○笑顔あふれる元気な子 ○友達と仲良く協力して生活する子 ○自分からすすんであいさつをする子 ○目標に向かって自分から楽しく取り組む子	【目指す学校像】 ○児童生徒が生き生きと学びあえる学校 ○家庭や地域に信頼され、地域と共に歩む学校 ○健康で安全安心に生活できるきれいで置った学校 ○児童生徒、保護者、教職員が自信と誇りをもてる学校	【目指す教師像】 ○子供を愛し、人間性豊かな教師 ○人権を尊重し、子供の気持ちを理解する教師 ○探求心にあふれ、指導力のある教師 ○社会の変化に合わせ、新しい発想で前向きに取り組む教師
--	---	--

育てたい児童生徒像 小学部

- やりたいことを見つけ、自分から伝えたり、行動したりすることができる。
- 友達と協力しながら、いろいろな役割を通して成功体験を重ね、やる気を高めることができる。

育てたい児童生徒像 中学部

- 自分の思いを表現する力を育み、自主的に学習や活動に取り組むことができる。
- お互いに認め合い、協力し合いながら、共に学校生活を送ることができる。

育てたい児童生徒像 高等部

- 実践的・体験的な活動を通して、自立と社会参加に必要な知識・技能・態度を身に付けることができる。
- 卒業後の生活を見据え、周りの人と円滑に関わることができる。

育てたい児童生徒像に迫るための重点目標

《個々の教育的ニーズに応じた魅力ある授業》
 ①適切な実態把握に基づき、主体的・対話的で深い学びのある授業づくりの推進
 ②ICT教育の推進と職員研修の充実
 ③学習評価の3観点に基づく“個別の指導計画”“個別的教育支援計画”の作成・活用と、保護者との共通理解及び教育活動の充実
 ④外部専門家の有効活用による障害の重度重複化、多様化への対応と専門性の向上

《自立と社会参加を目指すキャリア教育の推進》
 ①体験的学習の工夫及び人々や社会とつながる授業の充実
 ②ワークキャリア（働く）とライフキャリア（暮らす・楽しむ）の両視点からのキャリア教育の推進
 ③思いやりや豊かな心の育成を図る学級経営と児童生徒会活動の充実
 ④生涯スポーツや文化・芸術活動への取組

《地域に開かれた教育活動とセンター機能の充実》
 ①地域資源の活用による活動の充実
 ②教育活動等の情報発信（保護者、地域、幼小中高等）
 ③地域の特別支援教育体制の強化とセンター機能の向上
 ④専門家や関係機関との連携を密にした校内支援体制の充実

《信頼される学校づくりと働き方改革の推進》
 ①服務規律の確保とコンプライアンス意識の向上を図る研修の充実と推進
 ②明るくきれいで、風通しの良い学校を目指す取組
 ③PTA活動の充実、保護者等との連携推進
 ④業務の改善と効率化の推進、勤務時間の適正管理

